

高岡ロータリークラブ

2019/3/28

会長／加藤一博 幹事／山本政則

No.36



インスピレーションになるう

例会日：木曜日 12:30～13:30 創立：1951/11/15 チャーターナイト：1952/4/15 創立順位：No.68

司会 柳澤 会場監督 点鐘 加藤 会長
国歌斉唱／ロータリーソング

ゲスト 読売新聞北陸支社メディアソング班
奥中 一彦 氏
読売新聞北陸支社メディアソング班
赤畠 広志 氏
幹事ゲスト株式会社 ナガエ 代表取締役社長
長柄 洋一 氏
有限会社 モメンタムファクトリーOrie
代表取締役 折井 宏司 氏

会長挨拶／報告

■誕生祝
鞍野 誠さん(3/29・58才)
梶谷 英治さん(4/1・57才)
■会長エレクト研修セミナー報告…室崎会長エレクト

幹事報告

■配付／春のライトアップと門前市のチケット2枚
■理事会⇒本日13:30～桐の間
■IDM⇒本日 18:30～高岡市生涯学習センター
5階 研修室501
■4/4は板橋RCとの姉妹締結記念例会です。

委員会報告

■IDMのご案内…藤田 RLI 委員長・鞍野 IDM 委員長
■地区研修・協議会のご案内…次年度金森幹事

< ニコニコBOX 17件 47,000円 >

加藤会長／先々週の「台湾板橋 RC 姉妹締結 50 周年」
調印式典、祝賀会、磯はなびでの懇親会は会員、ご
婦人の皆様のお力添えで2日間を無事終えることが
出来ました。有難うございました。本日の IDM よ
ろしく申し上げます。

田中副会長／幹事ゲスト長柄さん、折井さんをお迎え
しました。

山本(政)君／長柄さん、折井さん、ようこそ高岡 RC
へ。大歓迎です。

藤田君／幹事ゲストとして長柄洋一さん、折井宏司さ
ん、ようこそ高岡 RC へお越しいただきました。高
岡銅器業界を背負っていただく優秀な方々です。ど
うぞロータリーライフを楽しんでください。感謝。

中村君／幹事ゲストの長柄さん、折井さん、ようこそ

高岡 RC へ。一緒に活動できること楽しみにしてい
ます！

竹中君／長柄さん、折井さん、ようこそ高岡 RC へ。
よろしく申し上げます。

吉岡君／長柄洋一さん「高岡 RC」へようこそ！入会さ
れることを、首を長くしてお待ちしておりました。
どうぞ宜しくお願い致します。

吉村君／本日、読売北陸支社社員の卓話を宜しくお願い
いたします。

塩崎(有)君／過日行われました板橋・高岡両クラブ
姉妹締結 50 周年記念式典及び調印延長式典・祝賀
会・懇親会に於いて会員及びご婦人の活躍にて無事
終了したことに於いて実行委員長としてお礼申し上げ
ます。

若野君／板橋 50 周年！皆様お疲れさまでした！山口
さん、上野さん、坪田さん、柳澤さん、島さん！若
い力でやり切りました。GOOD JOB！

山口君／板橋 50 周年、皆様のおかげで板橋メンバーの
方々に喜んでいただけたと思います。ありがとうございました。

上野君／板橋 RC 懇親会担当の上野です。3月15日磯
はなびでの懇親会では加藤会長をはじめ沢山の方の
ご協力をいただいたおかげで無事に終えることがで
きました。ありがとうございました。本日の例会、
所用により欠席します。すみません。

鞍野君／本日、18:30よりIDMがウイングウイング
5Fにて開催します。28名の登録をいただいています。
よろしく申し上げます。本日、誕生祝をいただき
有難うございます。

高木君／去る3月23日ウイングウイング高岡に於いて
高岡南部地域活性化推進協議会とみらい観光戦略会
議主催の「とやま賛歌フォーラム」を開催しました
ところ大勢のご来場をいただき有難うございました。
高岡 RC ほか各社・団体様からも特別協力並びに後
援を賜り、おかげさまで盛会裏に終了しました。御
礼申し上げます。

本多君／誕生日祝い有難うございました。合掌。

才高君／先日、誕生日祝いいいただきました。

梶谷君／誕生祝ありがとうございました。

◆プログラム◆

卓話

『ドローンで撮る』奥中 一彦 氏
赤畠 広志 氏



読売新聞では、富山、石川、福井の北陸3県の新聞で大型連載「北陸大紀行」を掲載している。連載は北陸新幹線が福井県敦賀市まで延伸される2023年まで続く予定だ。この連載は、紙面での掲載を始め、ツイッターやフェイスブックといったソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）を使った告知、掲載記事を再編集して制作した冊子など、多角的な媒体を使って発信している。高岡のみなさんは、読売新聞しか読んだことがないはずなので、お気づきではないと思うが、他の新聞はもちろん、今までの新聞社が実施してこなかった多角的に発信する取り組みだ。

その連載で大きな役割を果たしているのがドローンと呼ばれる小型無人機だ。地上から100メートルの高さまで上昇させて、写真や動画を撮影することができる。これまでの地上からの撮影や、ヘリコプターからの撮影とは違った迫力ある撮影ができる。また本体は簡易に持ち運びができるので、機動的に使えるのも魅力だ。そのドローンで撮った写真や動画が、「北陸大紀行」の大きな魅力となっている。

会場でお見せしたドローンは、実際に取材の時に使っている機体。カメラで撮影した映像はタブレットの画面でただちに確認できるので、臨機応変な対応が可能だ。ドローンそのものも革新が進み、農業散布や荷物運びなどへの活用が始まっているほか、人が乗って移動できるものも登場している。国内では強い規制による制限はあるものの、今後の開発動向に関心をはらってほしい。

北陸支社では、ドローンで撮影した動画を使った発信を積極的に行っている。みなさまのビジネスの中で、お手伝いできることがございましたら、お気軽にお声をかけてください。

■ IDM ■ 3/28 18:30～ 高岡市生涯学習センター5階 研修室 501 28名参加

